

公益社団法人日本材料学会 腐食防食部門委員会
第 299 回例会 (案)

日時 : 2014 年 7 月 22 日 (火) 13:00~17:00
会場 : たかつガーデン カトレア
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7 番 11 号 TEL 06-6768-3911
(近鉄上本町駅から徒歩約 3 分, 地下鉄谷町九丁目駅から徒歩約 7 分,
<http://www.takatsu.or.jp/>)

主 題: 「設備・構造物の劣化診断・モニタリング」

高経年化しつつある橋梁等のインフラ構造物やプラント設備などの劣化を計測・診断して、保守・補強・更新に反映させていくことは安全の確保と設備の長期にわたる維持のために重要な課題であり、構造物や設備の腐食を含む劣化・損傷を予測・評価する技術が不可欠である。

そこで、本例会では橋梁等のインフラ構造物やプラント設備などの腐食・劣化の検出・評価技術に関する先端技術について紹介いただき、劣化評価の適切な活用に向け、議論を深めたい。

— プログラム —

Business Meeting 13:00~13:15

(司会 三井化学(株) 小森 一夫)

1. 構造物の損傷と検査技術の役割 (仮) 13:20~14:10
(独)土木研究所 木村 嘉富

2. ひずみ計測による腐食評価(仮) 14:10~15:00
横浜国立大学 笠井 尚哉

休憩 15:00~15:20

(司会 住友化学(株) 藤田 和夫)

3. 腐食の AE(基礎研究から実構造物おける応用へ:1978-2014 年) 15:20~16:10
日本フィジカルアコースティクス(株) 湯山 茂徳

4. 超音波センサーによるインフラ劣化の検査技術(仮) 16:10~17:00
三菱電機(株) 木村 友則

(協賛予定) 化学工学会、火力原子力発電技術協会、高圧ガス保安協会、樹脂ライニング工業会、石油学会、電気化学会、土木学会、日本化学会、日本ガス協会、日本機械学会、日本金属学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本高圧力技術協会、日本水道協会、日本鉄鋼協会、日本非破壊検査協会、日本ボイラ協会、日本プラントメンテナンス協会、日本防錆技術協会、表面技術協会、腐食防食学会、溶接学会

腐食防食部門委員会会員以外の方には、参加費(資料代を含む)を戴きます。

日本材料学会・協賛学協会会員: 5,000円, その他非会員: 10,000円。

【申込先】(社)日本材料学会 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101

TEL: 075-761-5321, FAX: 075-761-5325, E-mail: jim@jmsms.jp